

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 215

江戸川区立西葛西中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年		第3学年		学年		第1学年		第2学年		
年度	国語	数学	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	+3	+4	+7	令和8年度の目標	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0
令和7年度の結果	+2	+3	+5	令和7年度の結果	4.0	10.0	10.2	2.5	8.3	9.6
令和6年度の結果	+1	+5	+6	令和6年度の結果	-0.7	8.9	3.8	4.7	10.0	12.5
令和5年度の結果	+1	-3	-2	令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】 全国学力調査、区学力調査では平均を上回ることができており、例年同程度の成果を保つことができています。</p> <p>【課題】 課題としては全体の底上げをすることはもちろん前年度と比べてAB層の比率が下がってしまっている。AB層の増加が今後の結果に影響を与えると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上 ・基礎学力の確立 ・学習習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実（授業研究・ICT機器の活用能力向上） ・郊外研修の受講促進 ・ミライシード・ドリルパークの活用 ・補習教室（放課後・定期考査前・長期休業中）の実施
第1学年	<p>【成果】 前年度の一年生の結果と比較した際大きく成果を伸ばすことができた。</p> <p>【課題】 他教科と比べて国語が毎年若干低い傾向がある。国語による読解力の向上はすべての教科の課題解決能力につながるため一学年の内から力を入れていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びの充実 ・基礎的な知識と技能の定着 ・思考力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとのテストを実施 ・studyweekでのドリルパークの活用 ・各教員による主体的に学習する授業の実践 ・授業における小テストの実施 ・補習教室（放課後・定期考査前・長期休業中）の実施 ・よむYOMUワークシートを活用した読解力の向上
第2学年	<p>【成果】 当該学年が一年生の時の国語が全国の平均を下回ってしまっていたが、プラスにすることができた。</p> <p>【課題】 前年度の当該学年を上回ることができたが例年と比較した際はまだまだ国語の低さが目立つ。国語の授業だけでなくよむYOMUワークシートの活用、各授業においても読解能力を高めるような授業を意識して授業実践していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びの充実 ・基礎的な知識と技能の定着 ・思考力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとのテストを実施 ・studyweekでのドリルパークの活用 ・各教員による主体的に学習する授業の実践 ・授業における小テストの実施 ・補習教室（放課後・定期考査前・長期休業中）の実施 ・よむYOMUワークシートを活用した読解力の向上
第3学年	<p>【成果】 前年度よりも合計1ポイント下回ってしまったが東京都の平均を上回ることができた。</p> <p>【課題】 AB層の比率が前年度よりも低下していった。AB層の増加を回すため、普段の授業内から思考力判断力を高めることができる設問を設定し論理的思考に基づく課題解決・問題解決の力をはぐくむ必要があると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びの充実 ・基礎的な知識と技能の定着 ・思考力の向上 ・問題解決能力の向上 ・論理的思考力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとのテストを実施 ・studyweekでのドリルパークの活用 ・各教員による主体的に学習する授業の実践 ・授業における小テストの実施 ・補習教室（放課後・定期考査前・長期休業中）の実施 ・よむYOMUワークシートを活用した読解力の向上